

「2018年7～9月期 中小企業 景気動向調査」 結果報告

一 業況DI やや悪化ながら、引き続き高水準を維持 一

一般財団法人しんきん経済研究所は、県西部地域の中小企業を対象に行なった「中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたので、ご報告します。

1. 調査概要（調査／しんきん経済研究所、協力／浜松商工会議所）

調査時期	2018年9月3日～8日
調査対象	静岡県西部地域の中小企業 661社
回収状況	回収数 652社（回収率 98.6%）
調査方法	調査表を用いた面接聴取（遠州信用金庫、浜松信用金庫、磐田信用金庫に委託）

2. 調査結果

① 2018年7～9月期の業況

県西部地域の中小企業の業況判断指数（DI＝「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値）は全産業ベースで2.8となり、2018年6月の前回調査（5.5）と比べて2.7ポイントの悪化となった。1996年の調査以来はじめて10を上回った2017年12月調査からみると、悪化傾向にあるが、過去と比べると業況の水準は引き続き高い。

② 2018年10～12月期の見通し

次回の業況DIは4.1ポイント改善の6.9を見込む。

③ 主な業種別の動向

業種	調査数	業況DI			動向
		前期	→ 今期	→ 次期見通し	
全体	652	5.5	2.8	6.9	
製造業	328	11.1	6.1	8.8	業況DIはプラス水準維持ながら、人手不足感は強く、特に自動車で深刻化。
二輪車部品製造	51	7.8	-7.8	2.0	業況DI、6四半期ぶりのマイナス水準も、今回はプラス水準見通し。
自動車部品製造	74	12.2	28.4	28.4	業況DI、30台近辺の高水準へ。人手不足は深刻も、受注好調のコメント多し。
機械部品製造	59	22.4	15.3	13.6	業況DIは悪化もプラス水準を維持。受注好調のコメント多し。
楽器部品製造	18	-5.6	-5.6	0.0	業況DI横ばい、人手不足感強まる。
繊維製造	25	0.0	-16.0	-12.0	季節要因有り、業況DIは再びマイナス水準へ。
製茶製造	13	0.0	15.4	-7.7	18年6月から調査開始。年末にかけて売上や収益は悪化の見通し。
製材製造	17	-14.3	-35.3	-17.6	18年6月から調査開始。原材料価格は上昇、収益を圧迫させる要因に。
卸売業	82	-5.3	-8.5	-2.4	業況DI小幅悪化も、マイナス水準の解消近辺を維持。仕入値上昇コメント多い。
小売業	70	-18.3	-2.9	-4.3	販売好調なコメント多く、業況DIは10ポイント超の改善、マイナス水準解消近。
建設業	73	8.6	2.7	15.1	業況DI悪化も、5四半期連続のプラス水準。工事好調維持のコメント多い。
不動産業	46	14.0	17.4	17.4	業況DI改善、7四半期連続のプラス水準。商品物件が不足気味。
飲食・宿泊・レジャー等	14	-5.3	-35.7	-28.6	業況DI大きく悪化、猛暑で客足遠のく。

本件のお問い合わせ先

◆◆ 4月より法人組織を変更しました ◆◆

一般財団法人 しんきん経済研究所 / 神谷 / TEL053-452-1510

〒432-8036 / 浜松市中区東伊場 2丁目 7-1 浜松商工会議所 5階